

結



社民クラブ

斎藤仁一の喜多方市議会報告IX-2

今までの保険証を廃止ではなく継続を

私は、9月議会定例会（9月7日～22日）で「マイナンバーカードの現況と今後の対応について」一般質問をしました。マイナ保険証との紐付けはどうか

私は「マイナンバーカードの年代別取得数及びその割合、そして、マイナ保険証との紐付けがどうなっているのか」と質問しました。

市民部長・保健福祉部長は「マイナンバーカードの0歳～39歳までは取得数9593人で割合は68%である。40歳～59歳では取得数7,722人で割合は73%である。60歳以上では取得数13,215人で割合は66%である。また、国民健康保険0歳～74歳では登録者数5,140人で割合は51%である。後期高齢者医療制度75歳以上では3,123人で割合は34%となっている」と答弁しました。

マイナカード、セキュリティが問題だが私は「マイナンバーカードはそのセキュリティの低さ、例えば、顔認証が他人でも認証するトラブル、また、写真を貼り替える事も可能である。市としての認識はどうか」と質問しました。

企画政策部長は「セキュリティについては、国民の不安払しょくに至っていないので、その強化に向けて国に求めていく」と答弁しました。

私は「介護の現場では、今まで保険証を預かり医療機関を受診するなど迅速な対応をしてきたが、マイナ保険証だと暗証番号の管理や紛失・盗難などの責任問題が出てくる事が懸念されている。市内にある介護施設関係者と情報交換等の協議をすべきと考えるがどうか」と質問しました。

保健福祉部長は、「その通りであるの

で、現場と十分意見交換して対応できるように努める」と答弁しました。

市長はアンケートにどう答えたのか

私は「共同通信社が行ったマイナンバーカードの普及に関するアンケート調査に市長はどう答えたのか」と質問しました。

副市長は、「デジタル化のスピードについては、やや早いと。マイナ保険証との一体化については、保険証廃止を延期すべきと。今後の対応方針、一体化の受け止めでは、マイナンバーカードを作っていない人や保険証と紐付けを行っていない人への対応が重要で、保険証廃止を延期して十分な準備と対策を取る期間が必要であると答えた」と答弁しました。

私は「市のマイナンバーカードにまだ申請していない人が約14,000人である。市長のアンケート回答にある通りすべての被保険者が安心して医療機関を受診できるようにする事が大事である。この考えに変わりはないか」と質問しました。

市長は「DX推進は必要な時代であるしかし、マイナ保険証によって被保険者が、これまで通り保険診療を受けられる国民皆保険制度を維持できるように資格確認書の流れが示されていない。

スケジュールの終期を示して進めることはいかなるものかと考える。市民の方々はどのような立場であつても、保険診療を受けられるようにしていかなければならないと考えている」と答弁しました。

マイナ保険証制度改正の請願は採択

健康保険証廃止の撤回とマイナ保険証の制度改正を求める請願

請願者：耶麻喜多方地区高齢・退職者連合会会長 芥川久氏

請願事項は

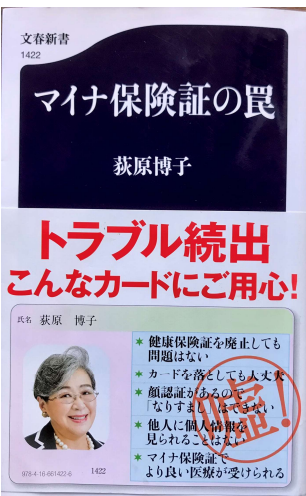
- 1 健康保険証廃止を撤回すること
2 マイナ保険証は希望者のみとすること
採決の結果 同一趣旨の請願が先に採択になったことから、本請願はみなし採択となりました。

採択となった請願に対する本会議での斎藤仁一議員の賛成討論

「マイナンバーカードは取得の任意性に関わらず、ポイント付与することで国民に取得を急がせましたが、そのセキュリティについては、顔認証では別人でも認証してしまう。また、マイナ保険証では、医療現場も介護現場も混乱しています。特に、介護現場では、今まで入所者から預かっていた対応が、暗証番号の管理、紛失や盗難による責任問題が生じるなど指摘されています。

特に、マイナンバーカードと保険証の一体化については、7月末現在喜多方市の国民健康保険加入者0歳～74歳までの被保険者のマイナ保険証登録率は51%75歳以上の後期高齢者医療制度の被保険者のマイナ保険証登録率は34%です。

このことから、現在の保険証を廃止せずに継続することが、国民皆保険制度を堅持することにもつながり、私たち国民も安心して医療機関を受診できます。以上の観点から請願に賛成します」



（萩原博子著「マイナ保険証の罠」）

教育委員会は公開して議論展開を

「ごまごま」が聞きたい」9月議会定例会



(9月議会一般質問に登壇)

小中統廃合実施計画案どう決まったのか

問喜多方市立小中学校適正規模適正配置第1次実施計画(案)について、総合教育会議、教育委員会及び適正規模適正配置審議会ではどのような意見が出され計画(案)としてまとめられたのか。

教育長 教育委員会では、「総合的に理解できる案である」「次期実施計画の検討を第一実施計画の実施と並行して行うべきである」「意見交換会での意見の偏りがあるのではないか」といった意見があった。適正規模適正配置審議会では「統合にあたって子ども達への配慮が大事」「統合案に賛成だが、子ども達を通学させた学校をつくる必要がある」「このほか、小規模特認校制度、学校を統合する際の形態に対する質問や統合は心配事もあるがメリットも多くあったという意見もあった。また、総合教育会議では「具

体的な提示により見通しがつきやすくなった」「対象外の学校についても再編案の検討を進めていくことが重要」「地域に対して丁寧な説明をお願いしたい」以上のようにならざるを得ない質問や意見をいただき、提案した内容により、地域説明会などの今後の策定作業を進めていくことが了承された。

問 この案の決定に至る経過は、教育委員会が6月13日に、適正規模適正配置審議会が6月18日に、そして、総合教育会議が6月22日に開催され、案が決定されたと理解していいのか。

教育長 その通りである。

問 13日開催の教育委員会議事録には、第1次実施計画案の議案は非公開となっている。審議会及び総合教育会議は非公開ではないが、なぜ教育委員会だけが非公開だったのか。

教育長 この実施計画案を審議会にかける前に、一般に公になるのはよくないという判断で非公開にした。

問 教育委員会は公の立場である。教育委員会としてどのような協議をして計画案を作成したのか、その事を明らかにすることが民主的な運営と思うがどうか。

教育長 非公開については、出席者の3分の2以上の多数決で議決したときはできるという事で、そのようにした。

問 それは手続きである。教育委員会の協議が明らかにされないで、審議会にまかせてしまうやり方はすべきでないと考えらるがどうか。

教育長 大きな問題であるので、審議会の前に明らかにすることは避けたかった。

意見実施計画案について、教育委員会の協議の内容が明らかにされることによつて、審議会でも丁寧な議論につながることを考えるので、非公開の判断は間違っていたと指摘しました。

食事が美味しい市町村ランキングで上位問 過去このランキングで4位、8位となつたが、この結果をどう分析し、今後にどう活かそうとしているのか。

産業部長 本市は文化庁の100年フードに認定された喜多方ラーメンや山都蕎麦そして、評価が高い日本酒、米やアスパラガスなどを使った料理を提供する飲食店、宿泊施設があり観光客を魅了している。さらに、希少価値の高い「ふくしま会津牛」などを活用した料理を楽しめることも魅力である。また、文化庁の食文化ミュージアムに認定された飯豊とそばの里センターでは、そば打ち体験や山都蕎麦について学べるなど全国に誇れる食文化が、その要因と分析している。今後は、首都圏でのトップセールスや観光物産展への出展、喜多方の食や食文化を提供している事業者や生産者の事業活動を継続して支援していく。



エフビットこうち(株)ー産建所管事務調査木質バイオマス発電所とパブリカ栽培

あとがき

◆8月24日、国は東京電力福島第一原子力発電所にたまり続けるアルプス処理水の海洋放出を始めました。

私は、特に、2015年に政府と東京電力が「関係者の理解なしにはいかなる処分もおこなわない」と福島県漁連に文書で伝えた方針を遵守するとしていたにもかかわらず、福島県漁業協同組合連合会始め全国漁業協同組合連合会が、ALPS処理水の海洋放出反対であるのに、その約束を反故にした海洋放出であること。また、漁業関係者は「海は、漁業者の生業の場である。その海に放射性物質を含んだ汚染水を流さないでほしい」と訴えていること。この漁業者の叫びに、私も第1次産業である農業者として賛同します。それは、田んぼに汚染水を流されたら、米を買ってくれる人はいなくなる結果として農業が成り立たなくなることは想像に難くありません。風評ではなく実害です。だから漁業者の方々は「海を汚染するな」と悲痛な声をあげ続けています。

政府と東京電力は、ただちに海洋放出を中止し、地上保管へ方針転換を図るべきです。

結(ゆい)Ⅸ-2 斎藤仁一後援会

- ・発行 2023年秋号
- ・発行責任者 斎藤 仁一
- ・住所 (〒969-4105) 山都町三津合字河原田 4848
- ・Tel&Fax 0241 (38) 2788
- ・Facebook Jinichi.saito.10
- ・E-mail ご意見・ご要望を rss02574@nifty.com